

KTS OPEN SERVICE

物体検知(試供版)

利用マニュアル

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. アカウント作成/ログイン | 3 |
| 1-1. アカウント作成 | 3 |
| 1-2. ログイン | 5 |
| 2. プロジェクト作成/ファイルアップロード | 8 |
| 2-1. プロジェクト作成 | 8 |
| 2-2. ファイルアップロード | 9 |
| 3. 映像の分析 | 12 |
| 3-1. 動体の分析 | 12 |
| 3-1-1. カウントエリア・ラインの指定 | 13 |
| 3-1-2. 速度検出設定 | 16 |
| 3-1-3. 処理モードの選択 | 18 |
| 3-1-4. 軌跡の位置指定 | 18 |
| 3-1-5. カウント対象の指定 | 19 |
| 3-1-6. 映像のトリミング | 20 |
| 3-2. 人の検出 | 21 |
| 4. 結果の確認 | 22 |
| 4-1. 結果一覧の表示 | 22 |
| 4-2. レポートの確認 | 24 |
| 4-2-1. グラフ・表での結果確認（動体の分析） | 24 |
| 4-2-2. グラフ・表での結果確認（人の分析） | 26 |
| 4-2-3. 動画での結果確認 | 27 |
| 4-2-4. ヒートマップの確認 | 29 |

1. アカウント作成/ログイン

1-1. アカウント作成

ログイン画面下部にある「アカウント作成はこちら」をクリックします。



名前、メールアドレス、会社名、支店名・部署名、パスワードを入力し、「登録」をクリックします。

※利用規約への同意がないとアカウント作成できません。

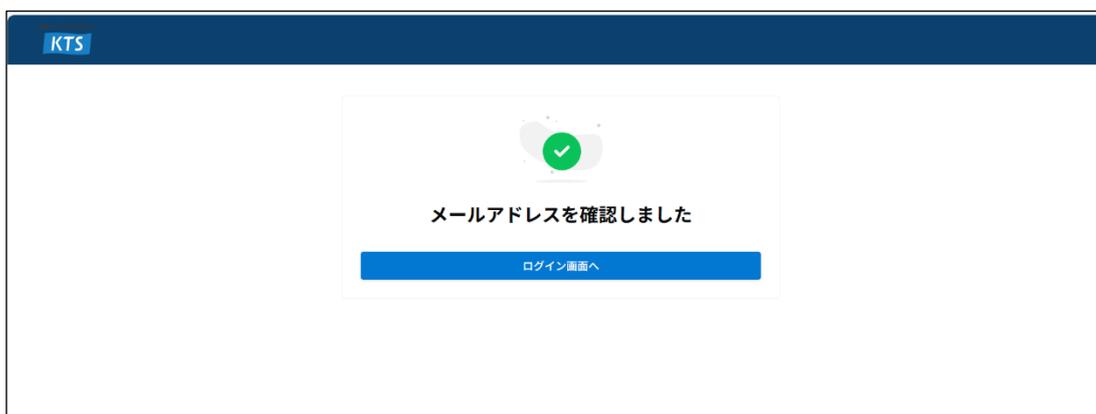


入力されたメールアドレス宛に、認証用メールが送信されます。

「メールアドレスの確認」をクリックしてください。

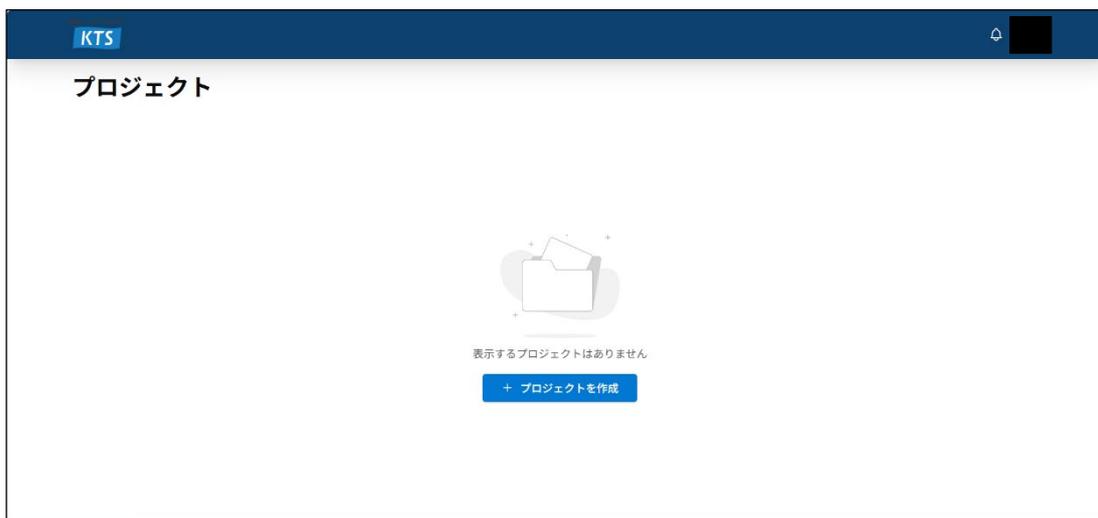
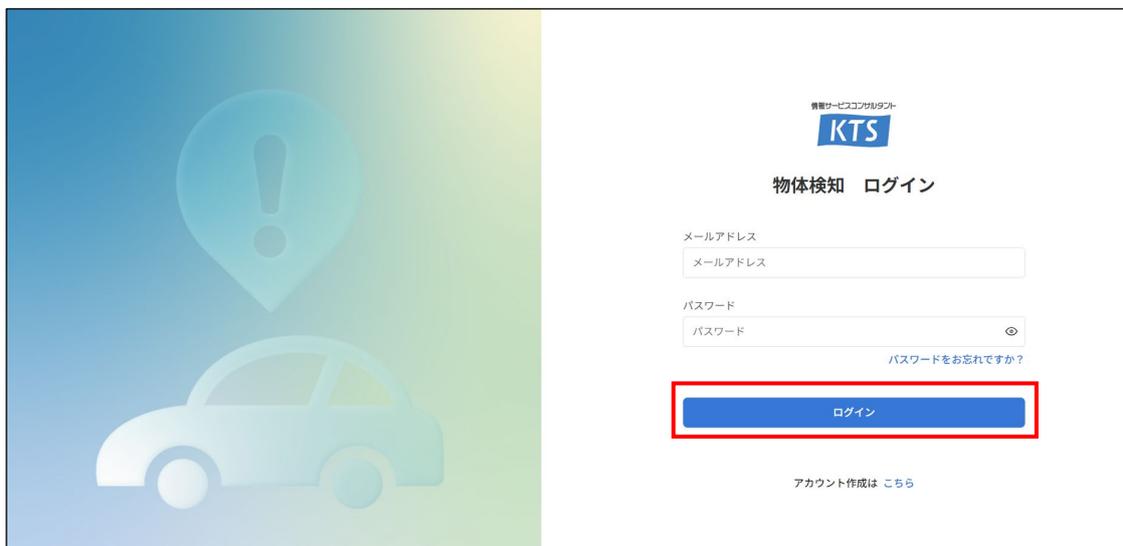


認証完了画面が表示されたら、アカウント作成は完了です。



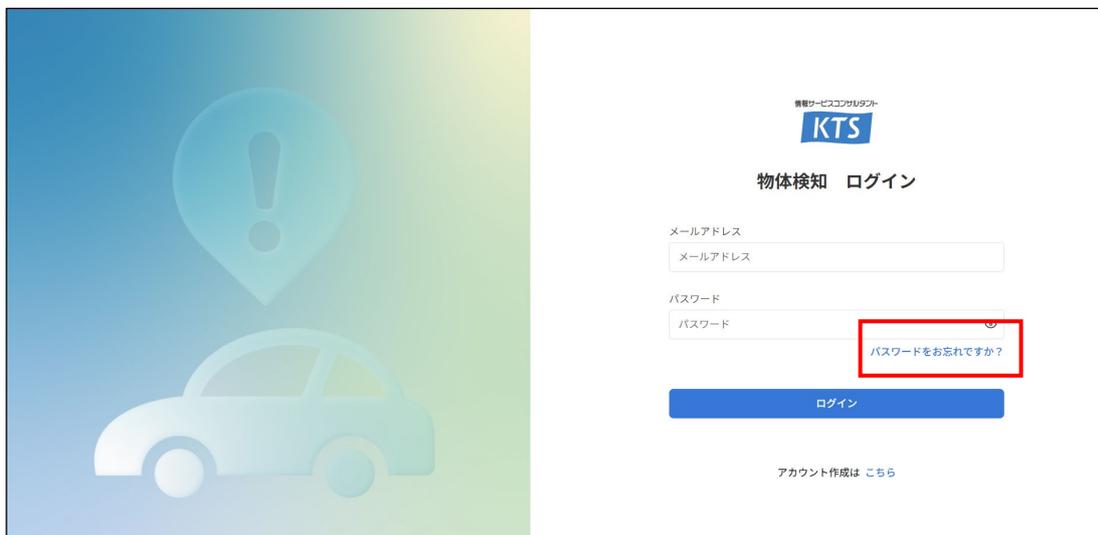
1-2. ログイン

登録済みのメールアドレスとパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



※パスワードを忘れた場合は、以下の手順でパスワードをリセットしてください。

ログイン画面上で、「パスワードをお忘れですか?」をクリックします。



登録されているメールアドレスを入力し、
「再設定リンクを送信する」をクリックしてください。



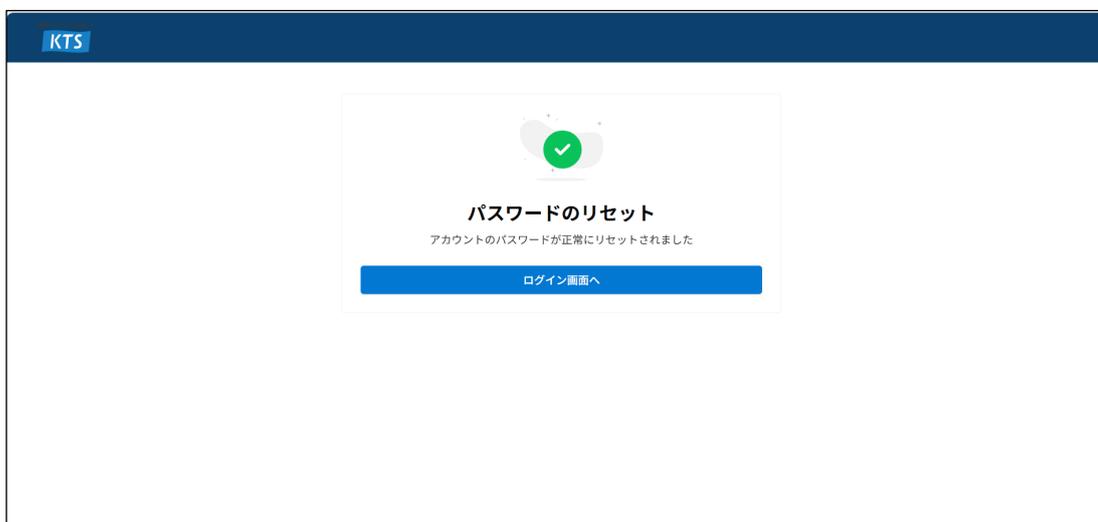
送信されたメールを確認し、「パスワードリセット」リンクをクリックします。



新しいパスワードを入力し、「パスワードをリセットする」をクリックしてください。



完了画面が表示されたら、リセット完了です。



2. プロジェクト作成/ファイルアップロード

ログイン後の画面には、プロジェクト一覧が表示されます。

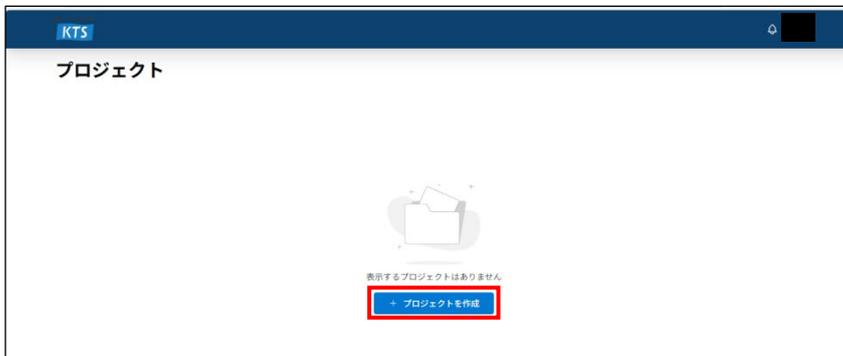
必要に応じて新しいプロジェクトを作成し、プロジェクトに映像ファイルをアップロードします。1つのプロジェクトに複数の映像ファイルを登録でき、解析はファイル毎に実行されます。

2-1. プロジェクト作成

「プロジェクトを作成」をクリックします。



※初めてプロジェクトを作成する場合の画面↓



プロジェクト名と説明を入力し、「作成」をクリックします。

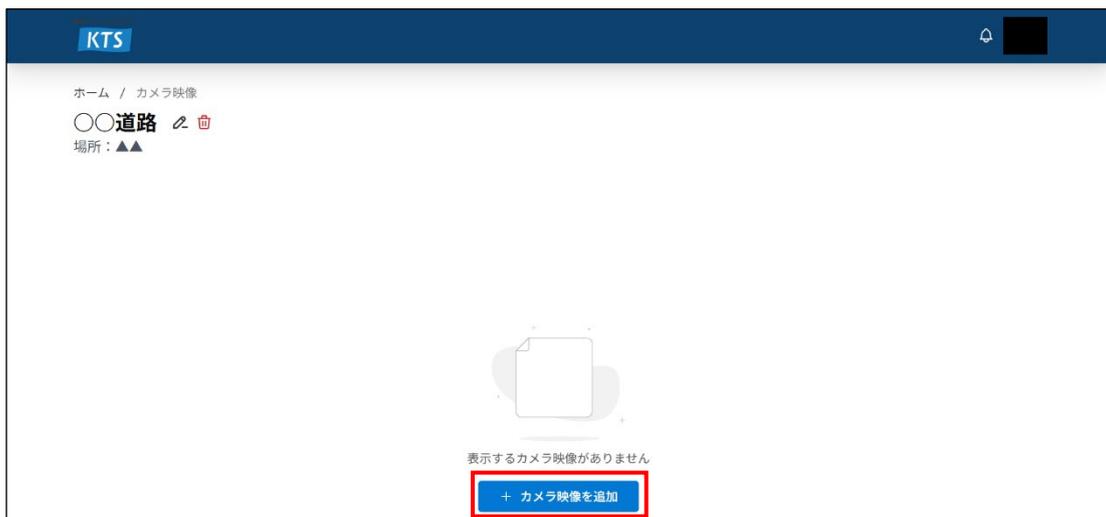
A screenshot of the 'プロジェクトの作成' (Create Project) form. It has a title 'プロジェクトの作成' and two input fields: 'プロジェクト名' (Project Name) with the text '〇〇道路' and '説明' (Description) with the text '場所：▲▲'. Below the description field, it says '5/180 文字'. At the bottom, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '作成' (Create), with the '作成' button highlighted by a red box.

2-2. ファイルアップロード

プロジェクト一覧画面で、映像ファイルを追加したいプロジェクトをクリックします。



「カメラ映像を追加」をクリックします。



カメラ映像名を入力し、アップロードするファイルを選択してください。

アップロード方法は以下の2つです。

- ・[ファイルを参照する] をクリックしてファイルを選択
- ・ファイルを枠内にドラッグ&ドロップ

※対応形式：.MP4、アップロードサイズ上限：5GB

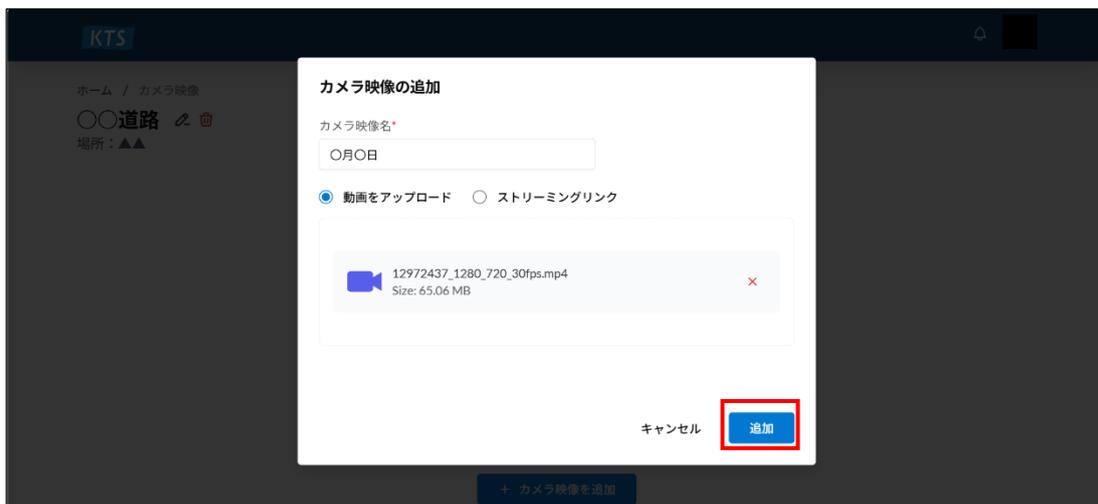
※30秒以上の動画をアップロードしてください。

※ストリーミングリンクは特定の環境でのみ動作します。

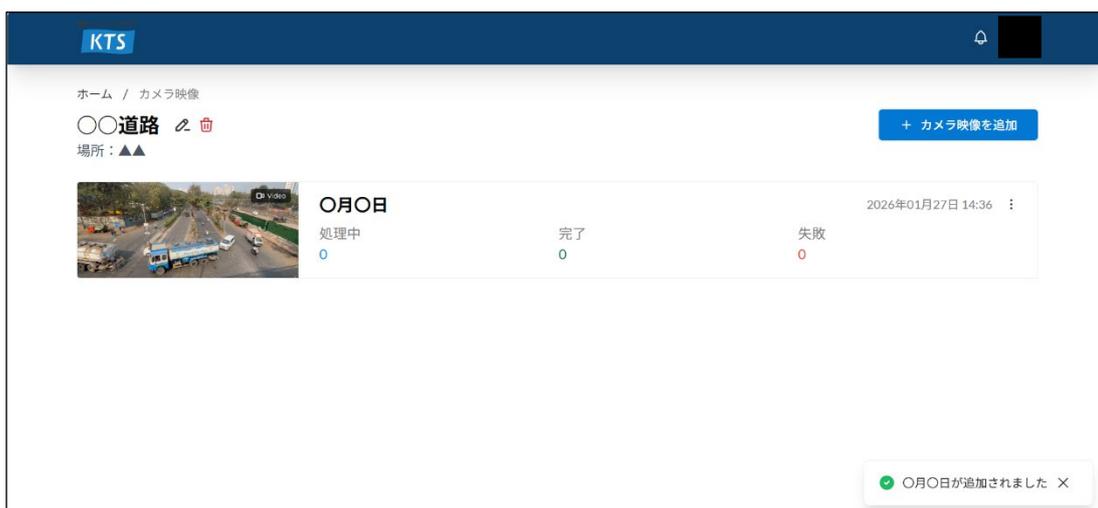
[動画をアップロード]を選択してください。



読み込みが完了したら、「追加」をクリックします。



プロジェクトにカメラ映像が追加されます。



3. 映像の分析

2つの方法で映像を分析できます。

動体の分析（→ 3-1.へ）

映像内の人、車、バイク、自転車、トラック、バスを検出し、その数をカウントします。映像内にエリアや線分を指定すると、通過した物体の数がカウントされます。

人の検出（→ 3-2.へ）

映像内の人物を検出し、検出総数および識別された人物数をカウントします。

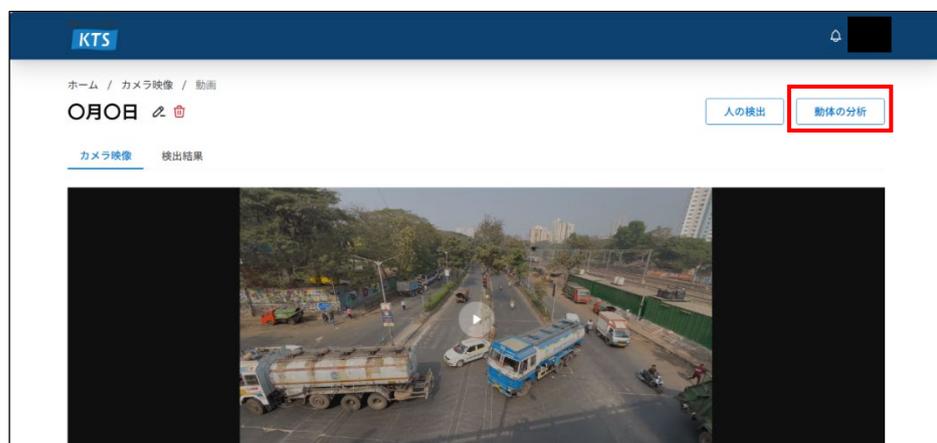
解析結果として、映像中で検出された検出総数と、識別された特定の人物数（識別人数）が出力されます。

3-1. 動体の分析

カメラ映像一覧画面で、分析する映像をクリックします。



「動体の分析」をクリックします。



3-1-1. カウントエリア・ラインの指定

以下の①～③の方法でカウントエリア・カウントラインを指定します。

指定したエリア・ラインに進入・通過した物体がカウントされます。

なお、エリア・ラインは同一動画内に複数指定できます。

① エリアの指定（長方形）

「長方形を追加」をクリックします。



動画上をクリックしたままドラッグすると、長方形が追加されます。



②エリアの指定（ポリゴン〔多角形〕）

「ポリゴンを追加」をクリックします。



クリックで頂点を追加していきます。最初にクリックした点（赤色で表示）を再度クリックすると、ポリゴンが閉じて描画が完了します。



③ ライン（線分）の指定

「線分を追加」をクリックします。

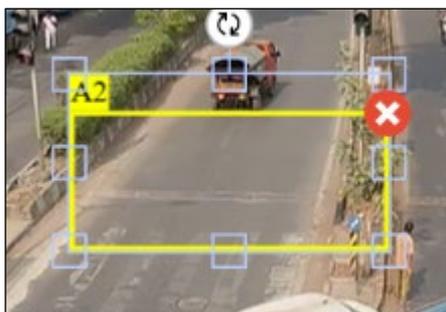


動画上をクリックしたままドラッグし、

ドラッグを終了した地点でライン（線分）の描画が完了します。



※エリアやラインを削除したい場合は、「×」アイコンをクリックします。



3-1-2. 速度検出設定

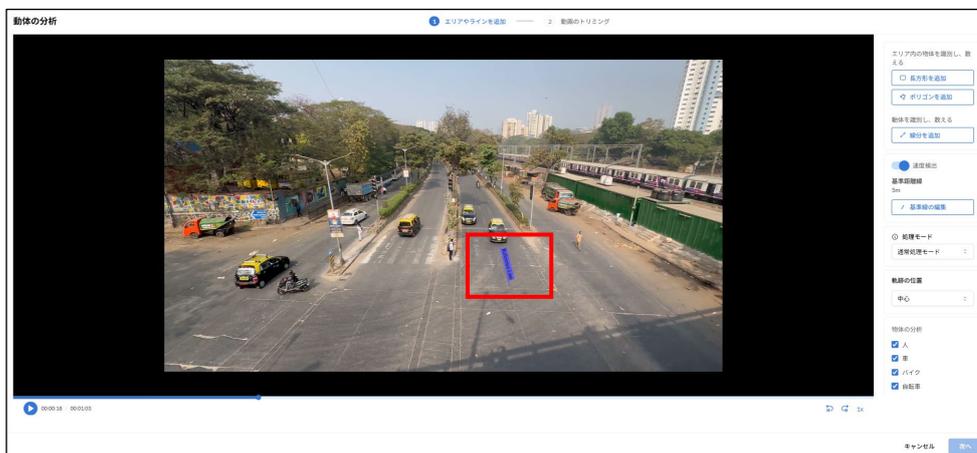
基準線とその距離を設定することで、物体の速度を簡易的に検出できます。

速度検出を行う場合は、「速度検出」をオンにします。

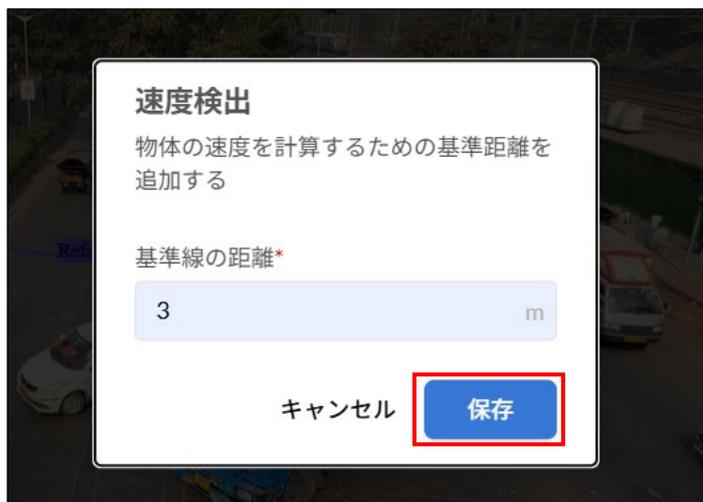


動画内に基準線を描画します。動画上をクリックしたままドラッグし、ドラッグを終了した地点で基準線の描画が完了します。

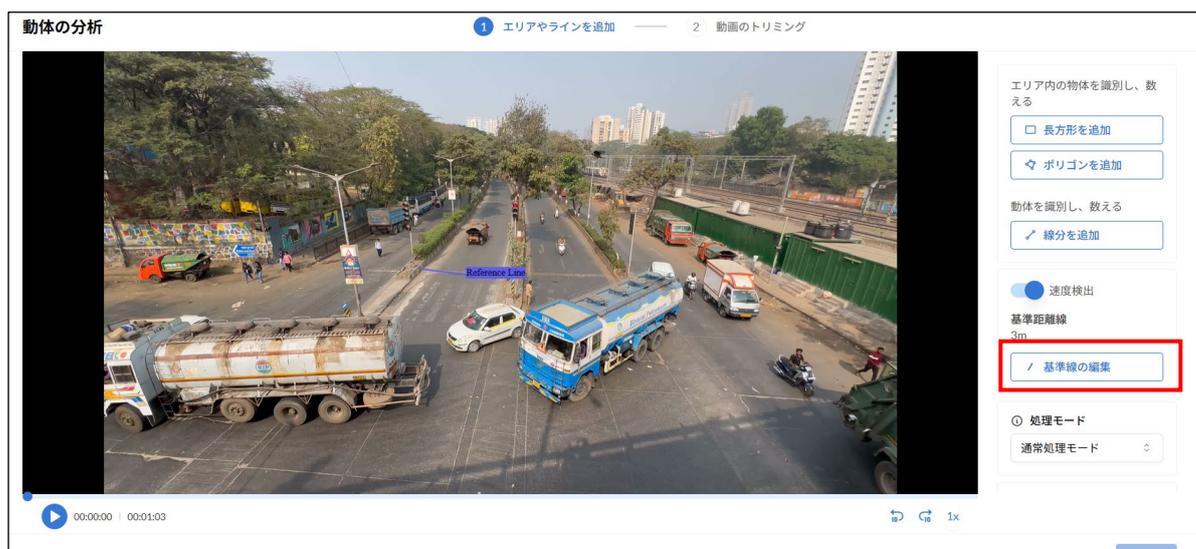
※基準線は、物体の進行方向と平行になるように指定してください。



基準線の距離を入力し、「保存」をクリックします。



基準線を編集したい場合は、「基準線を編集」をクリックし、描画し直してください。



3-1-3. 処理モードの選択

プルダウンから、処理モードを選択します。

- ・通常処理モード：対象物が鮮明に、かつ近くに映っている映像に使用します。
- ・詳細処理モード：遠くにある物体や小さな物体が映っている映像に最適ですが、処理に時間がかかります。



3-1-4. 軌跡の位置指定

プルダウンから、検出する軌跡の位置を選択します。

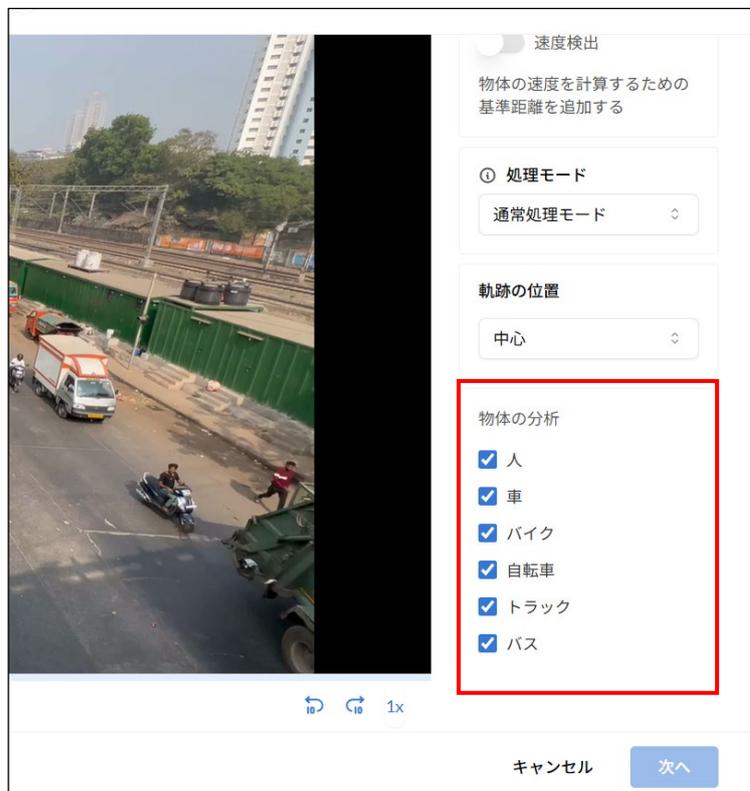
中心では物体中心付近の軌跡を、下端では物体下端付近の軌跡が抽出されます。



抽出された軌跡が、「3-1-1.カウントエリア・ラインの指定」で指定したエリアもしくはラインに進入・通過した数がカウントされます。

3-1-5. カウント対象の指定

チェックボックスで、カウント対象を指定します（複数選択可）。

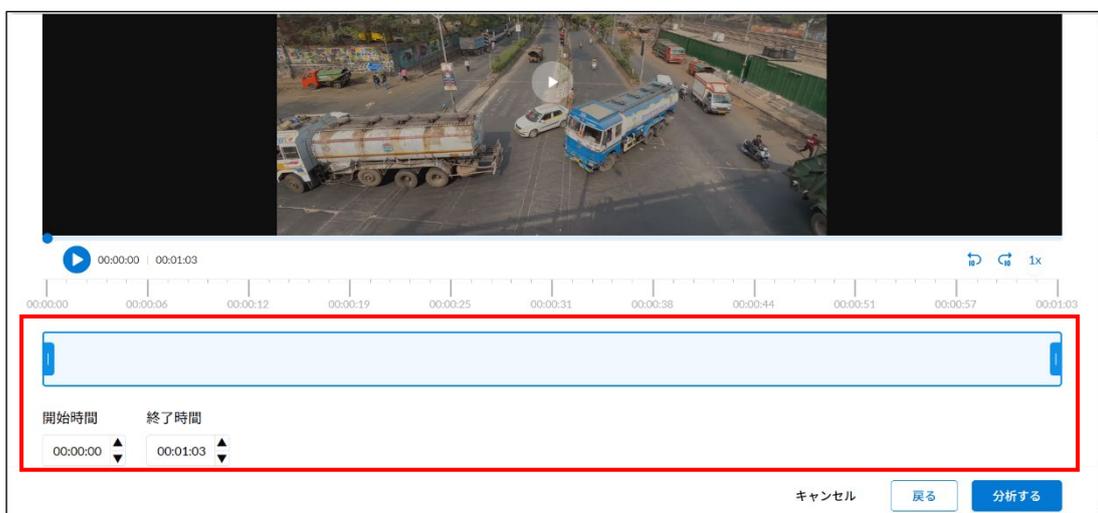


3-1-6. 映像のトリミング

3-1-1.~3-1-5.までの設定が完了したら、「次へ」をクリックします。



開始時刻と終了時刻を設定し、分析対象範囲を指定します。



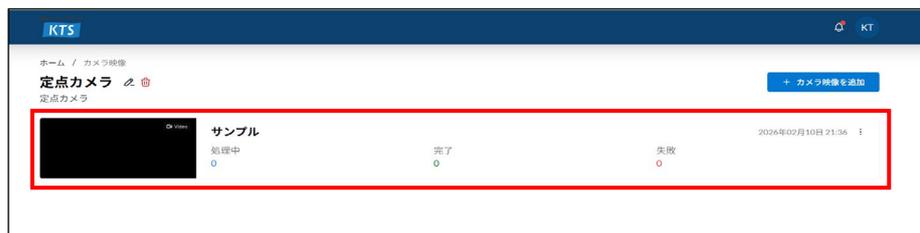
「分析する」をクリックし、処理を開始します。

処理完了後は登録されたメールアドレス宛に通知が届きます。



3-2. 人の検出

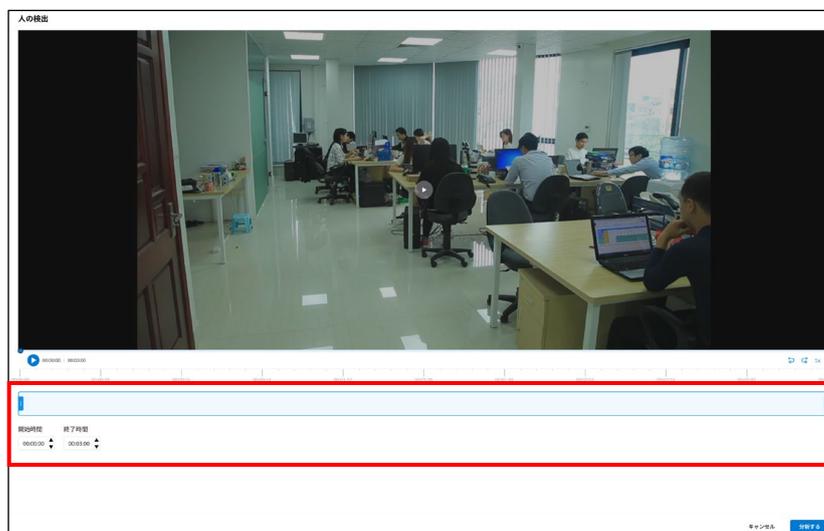
カメラ映像一覧画面で、分析する映像をクリックします。



「人の検出」をクリックします。



開始時刻と終了時刻を設定し、分析対象範囲を指定します。



「分析する」をクリックします。

処理完了後は登録されたメールアドレス宛に通知が届きます。



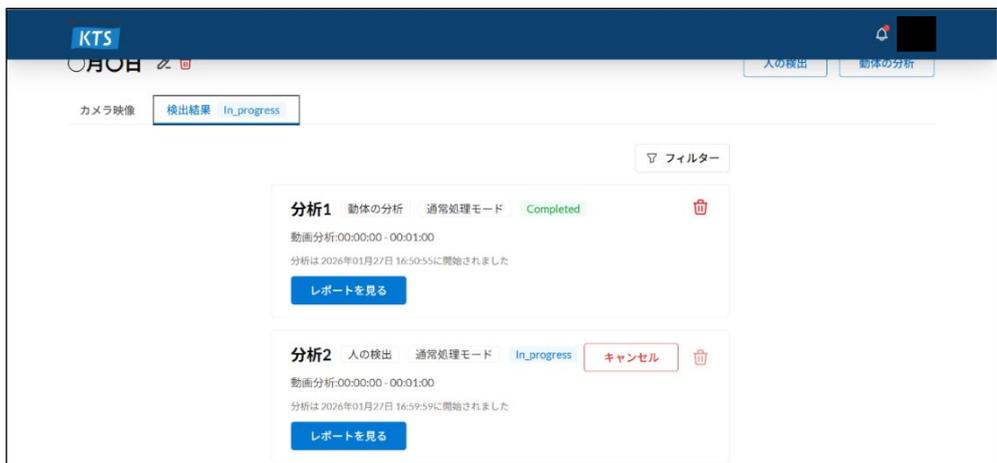
4. 結果の確認

4-1. 結果一覧の表示

検出結果は、映像ファイルの「検出結果」タブから確認できます。



タブ内には、映像に対して行われた分析結果一覧が表示されます。



進行中の処理をキャンセルする場合は、「キャンセル」をクリックします。



結果を削除する場合は、ごみ箱のアイコンをクリックします。



検出結果を確認する場合は、「レポートを見る」をクリックします。

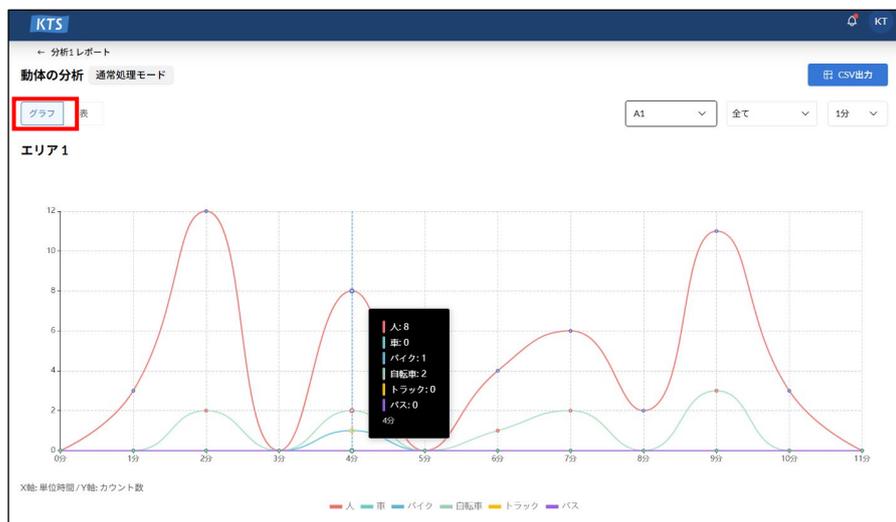


4-2. レポートの確認

4-2-1. グラフ・表での結果確認（動体の分析）

画面上部に、結果を示すグラフと表が表示されます。

グラフ



表

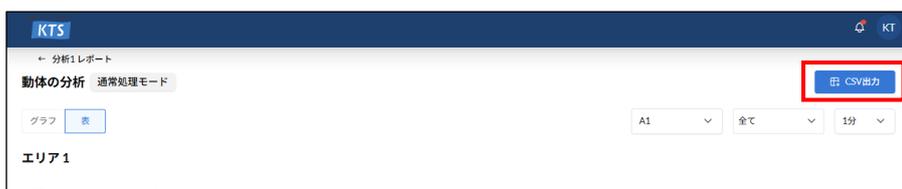
| 時間(分) | 人 | 車 | バイク | 自転車 | トラック | バス |
|---------|----|---|-----|-----|------|----|
| 0分-1分 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1分-2分 | 12 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 2分-3分 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3分-4分 | 8 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 4分-5分 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5分-6分 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 6分-7分 | 6 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 7分-8分 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8分-9分 | 11 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 9分-10分 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 10分-11分 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 49 | 0 | 1 | 10 | 0 | 0 |

グラフや表で表示する結果は、画面右上の3つのプルダウンより指定できます。



| 番号 | 名称 | 解説 |
|----|-----------|---------------------------------|
| ① | エリア/線分の選択 | どのエリアやラインにおけるカウント結果を表示するかを選択します |
| ② | 対象項目の選択 | 表示するカウント対象(車、バスなど)を選択します |
| ③ | 時間単位の選択 | 表示する時間単位を選択します |

表を出力したい場合は、画面右上の「CSV出力」をクリックします。



4-2-2. グラフ・表での結果確認（人の分析）

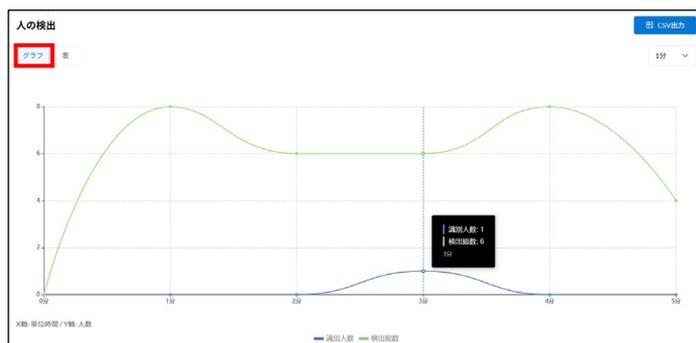
画面上部に、結果を示すグラフと表が表示されます。

各項目の内訳は以下のとおりです。

検出総数：映像中で検出された人の総数

識別人数：識別された特定の人の数（十分に特徴点を抽出できた人のみをカウント）

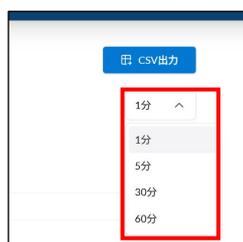
グラフ



表

| 時間(分) | 識別人数 | 検出総数 |
|-------|------|------|
| 0分-1分 | 0 | 8 |
| 1分-2分 | 0 | 6 |
| 2分-3分 | 1 | 6 |
| 3分-4分 | 0 | 8 |
| 4分-5分 | 0 | 4 |

プルダウンにより、グラフや表に表示する時間単位を選択できます。



表を出力したい場合は、画面右上の「CSV 出力」をクリックします。



4-2-3. 動画での結果確認

「分析された動画」の欄では、動画上で検知の様子が確認できます。



・ 動体の検出状況（動体の分析）

検出された動体は枠で囲まれ、信頼度スコアと分類が表示されます。

例えば、[0.93 CAR]と表示されている場合、

車 (CAR) である確率が約 93%であることが確認できます。



・ 人の検出状況（人の分析）

識別された人物は枠で囲まれ、自動付与された番号とともに表示されます。

※十分な特徴点を検出できない場合、動画上で枠が表示されていても、

グラフや表（4-2-2.参照）では識別人数としてカウントされないことがあります。



・速度（動体の分析）

速度検知設定（3-2-2.参照）が ON になっている場合、参考速度が表示されます。



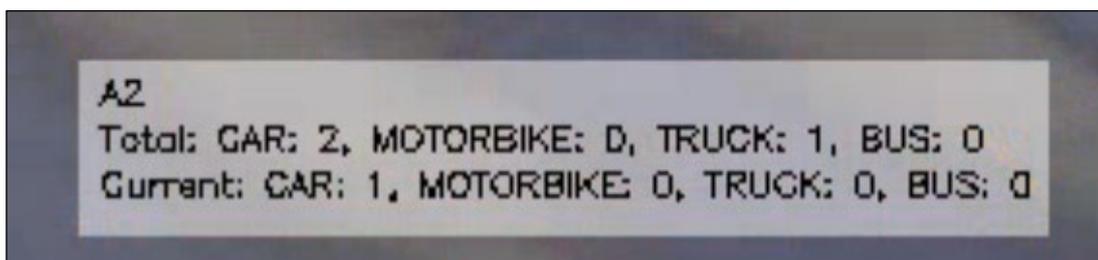
・カウント結果（動体の分析）

設定したカウントエリアやカウントラインの付近には、カウント結果が表示されます。

Total：これまでにカウントされた総数

Current：現在エリア内に存在している数（ラインの場合は表示されません）

なお、これらの数値は、カウント対象（例：車、バス、人など）ごとに表示されます。



・軌跡の確認（動体の分析）

設定された軌跡の位置（3-2-4.参照）で抽出された軌跡を確認できます。



4-2-4. ヒートマップの確認

抽出された軌跡を基にヒートマップが表示されます。



改訂履歴

2026年2月16日 初版
